

所属	人間社会学部・人間社会学系	職名	准教授	氏名	森脇 敦史
----	---------------	----	-----	----	-------

## 1. 教員紹介・主な研究分野

憲法学を専攻しており、特に情報と法との関わり合いを中心的な研究課題としている。電子通信技術の発達（特にインターネットの爆発的拡大）は、誰もが情報を発信することを可能とした。これは、思想の自由市場への参入者を拡大し、多様な情報が発信されるという面を持つ。一方で、発信者が限定的であったがゆえに成立していた従来の規律を破壊し、人々の権利を侵害する（名誉毀損やプライバシー侵害、著作権侵害など）という一面をも有している。このような問題に対して、憲法上の権利である表現の自由という観点から、個別の事例においてどのような解決を図るべきなのか、さらには、どのような制度設計を行うことが、最も適切な権利配分を人々に行うことになるのかということ考察している。

また近年は、アメリカの表現の自由法理が形成された歴史的背景についても研究を進めている。合衆国憲法において表現の自由が一定の保護を受けるようになったのは1940年代頃からであるが、無制限の保護が不可能である以上、規制されうる言論と規制され得ない言論の線引きが必要となる。個人・社会の多様化が進む日本において、あるべき言論の自由法理を提示するため、そのような線引きをいかなる理論的枠組みにより行おうとしたのかを検討している。

## 2. 研究業績

### ①最近の著書・論文

・大隈義和、大江正昭、井田洋子、井上禎男、植木淳、近藤敦、森脇敦史、湯浅塾道、奈須祐治、太田周二朗、日野田浩行『憲法学へのいざない 第3版』第8章（経済的自由）、第15章（内閣・行政組織）、青林書院、2015年4月

### ②その他最近の業績

<判例研究>

・森脇敦史「市議会議員の議会質問が市長の名誉を毀損するとして謝罪広告の掲載を命じた事例」新・判例解説 Watch Vol. 13、2013年9月

<用語解説>

・確認憲法用語（成文堂、2014年9月）

### ③過去の主要業績

森脇敦史「言論活動への政府資金助成に対する憲法上の規律」、阪大法学第53巻1号113～142頁、2003年

森脇敦史「図書館に対するフィルタリングの義務づけと今後のインターネット上における表現規制の態様—CDA、COPA、CIPAの事例から—」、阪大法学第53巻3号393～419頁、2003年

森脇敦史「発言する政府、設計する政府」松井茂記、市川正人、紙谷雅子、鈴木秀美、福島力洋、森脇敦史、渡辺武達、宮崎寿子、田中智佐子、野原仁、ミッシェル・マクレラン、丹羽俊夫、木村哲也『メディアの法理と社会的責任』127-150頁、ミネルヴァ書房、2004年

森脇敦史「キャス・サンスティン リスクと不確実性の憲法学」駒村圭吾、大林圭吾、葛西まゆこ、平地秀哉、奈須祐治、尾形健、大江一平、大河内美紀、中川律、山本龍彦、

森脇敦史、横大道聡『アメリカ憲法学の群像 理論家編』255-274頁、尚学社、2010年1月

### 3. 外部研究資金

### 4. 受賞

### 5. 所属学会

関西アメリカ公法学会、関西憲法判例研究会、九州公法判例研究会、情報ネットワーク法学会、合衆国最高裁判所判例研究会

### 6. 担当授業科目

法学・2単位・1年・前期、教養演習・1単位・1年、前期、憲法・2単位・1年・後期、現代社会論C（情報社会と法）・2単位・2年、法律学概論Ⅰ・2単位・3年・前期、法律学概論Ⅱ・2単位・3年・後期

### 7. 社会貢献活動

田川市情報公開・個人情報保護審議会委員  
築上町個人情報保護審査会委員  
福智町情報公開審査会委員（会長）  
福智町個人情報保護審査会委員（会長）  
福智町まち・ひと・しごと総合戦略策定委員会委員（委員長）

### 8. 学外講義・講演

### 9. 附属研究所の活動等